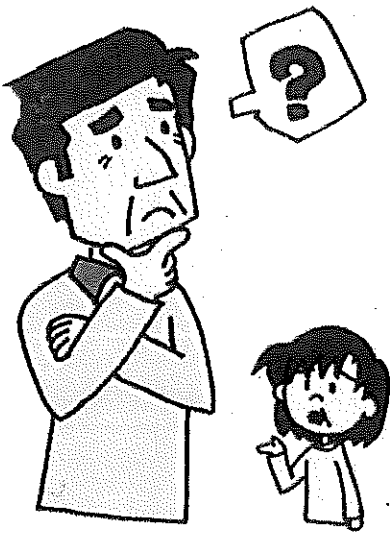


高次脳機能障害のある方(お客様)への配慮について

○高次脳機能(こうじのうきのう)障害とは？

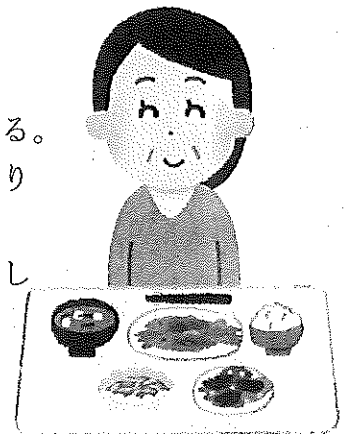
ケガや病気によって脳に損傷を負い、日常生活や社会生活に支障をきたす状態を指します。大雑把に表現すると、認知症のような症状を呈する障害です。しかし、原因は認知症とは異なり、また高次脳機能障害は体の障害と違って一見してわかりにくい障害です。「静かな障害」と言われることもあり、本人が困っていることに対して周囲の人も気づきにくいことが特徴です。損傷を受けた脳の場所により現れる障害も違ってきますが、主な症状としては次のような症状がでることがあります。



- 相手のいった言葉が上手く理解できない。または言葉を上手くしゃべることができない。
- 新しいことを覚えていることが難しく、同じことを繰り返し質問してしまう。
- 周囲が気になって、キョロキョロしてしまう。
- 人に指示を出してもらわないと何もできない
- 思い通りにならないと興奮してしまうことがある。


○高次脳機能障害がある方への配慮

- 会話をする際は、ゆっくりと丁寧に話をする。
- 人によっては文字やイラストでコミュニケーションをとってみる。
- 周囲が気になり落ち着かない人がいる場合は、席を少し離したり個室へ案内する。
- 注文やお会計のやり方で困っている人がいれば、やり方を記載したものを提示する。



○その他の配慮について

高次脳機能障害の方は、家族や友人など、誰かと一緒に来店する場合もありますが、その際は付き添いの人だけではなく、本人ともコミュニケーションを取ることで本人も安心して過ごすことができる配慮になるかと思われます。

 仙台市若林障害者福祉センター
(社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会)
電話：022-294-0450